

大人女子第2章スタート!

7

2020 JUL.
特別
定価 1150円

COVER WOMAN
篠原涼子

W
VERSARY
E
H
W

のお洒落コーデ

ソング5枚で夏を越す!

の顔に効く絶品眉メイク

瑞恵の「顔は眉で決まる!」

・トップネイリストに教わる

季穂のペディキュア講座

TAYHOMEワンピが急浮上!?

巨薄でて伸びる

GL

[特別付録]

多くの女優から人気
岡野瑞恵さ

大人の眉
4点8色

人気猫マッシュ8
特製パッケージ

1 立体眉になる
織維入りパウダー

4色パレット

サイズ: 縦86×横47mm



2 ニュアンス眉を作れる

2色パレット

サイズ: 直径49mm



3 誰にでも合う
ブラウン系

眉ペンシル

イラストレーター
進藤やす子の欲ばり週末旅

イラスト・文=進藤やす子 写真=進藤やす子、マリブホテル

vol.15 MALIBU HOTEL×MALIBU FARM

心身のリズムを取り戻す滞在型マリーナリゾートが誕生!



日本有数のマリーナとして1971年に誕生した「リビエラ逗子マリーナ」は、ヨットハーバーやレストラン、バンケット、チャペル、マンションなどを擁する一大リゾート地です。都心から約50分の近距離ながら海外のリゾート地のようなこの場所に、全11室のスマールラグジュアリーホテル「マリブホテル」と日本初上陸のレストラン「マリブファーム」が誕生しました。ホテルはすべてが50平米以上のスイート仕様で、どの客室からも湘南の海と富士山を望める絶好のロケーション。1階には愛犬と一緒に宿泊可能なドッグフレンドリールームがあるのも魅力のひとつ。また客室で「CLAYD SPA in MALIBU HOTEL」のスパリートメントを受けることも可能なので、トリートメント後に

すっぴんの寝ぼけ眼でもまわりと共にオープンした「マリブファーム」はアメリカで6店舗展開するセレブに人気のレストランで、"Fresh, Organic, Local" がコンセプト。現地のレシピを軸に地元鎌倉の新鮮野菜や相模湾の魚介類を使用した日本限定メニューも登場。ダイニングバーやカフェの他ウォーターテラス席などがあり、様々なシチュエーションに対応可能です。朝の清々しい時間帯に客室のテラスで寛ぐも良し、美しい夕景をシヤンパン片手に眺めるも良し、ゆっくりと滞在して心身のリズムを取り戻す。つまりこのホテルで過ごす目的は、自分が自分に還ること。「何もない贅沢な時間」をこの地でぜひ。



Stay

『MALIBU HOTEL』

「リビエラ逗子マリーナ」内に2020年3月にグランドオープンした、全11室のスマールラグジュアリーホテル。
 ④神奈川県逗子市小坪5丁目23-16
 ⑤0467-23-0077 <https://www.riviera.co.jp/malibuhotel/>
 ※取材は3月下旬に行われました。

Goods



「マリブファーム」ではロゴ入りマグカップなど、ふだん使いできる気のきいた雑貨が揃う。プレゼントにも最適。

Food



ルームサービスは「マリブファーム」の料理以外に宿泊者のみいただける日本料理のメニューもあり。

Room



ロサンゼルスのトップインテリアデザイナーによる監修で、客室ごとに異なるスタイルの上質な空間。

Profile しんどうやすこ

好奇心旺盛なGLOW世代のイラストレーター。『進藤やす子のファッショナリィ』(小社刊)ほか著書多数。昨年5月に発売された新刊『簡単におしゃれ度UP! 大人の着こなしルール』が好評発売中。

1971年に誕生した「リビエラ逗子マリーナ」は、ヨットハーバーやレストラン、バンケット、チャペル、マンションなどを擁する一大リゾート地です。都心から約50分の近距離ながら海外のリゾート地のようなこの場所に、全11室のスマールラグジュアリーホテル「マリブホテル」と日本初上陸のレストラン「マリブファーム」が誕生しました。ホテルはすべてが50平米以上のスイート仕様で、どの客室からも湘南の海と富士山を望める絶好のロケーション。1階には愛犬と一緒に宿泊可能なドッグフレンドリールームがあるのも魅力のひとつ。また客室で「CLAYD SPA in MALIBU HOTEL」のスパリートメントを受けることも可能なので、トリートメント後に

すっぴんの寝ぼけ眼でもまわりと共にオープンした「マリブファーム」はアメリカで6店舗展開するセレブに人気のレストランで、"Fresh, Organic, Local" がコンセプト。現地のレシピを軸に地元鎌倉の新鮮野菜や相模湾の魚介類を使用した日本限定メニューも登場。ダイニングバーやカフェの他ウォーターテラス席などがあり、様々なシチュエーションに対応可能です。朝の清々しい時間帯に客室のテラスで寛ぐも良し、美しい夕景をシヤンパン片手に眺めるも良し、ゆっくりと滞在して心身のリズムを取り戻す。つまりこのホテルで過ごす目的は、自分が自分に還ること。「何もない贅沢な時間」をこの地でぜひ。